

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	輸入食品の監視体制強化等事業		担当部局庁	食品安全部		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	企画情報課 基準審査課 監視安全課		伊原 和人 長谷部 和久 滝本 浩司			
会計区分	一般会計		政策・施策名	II-1-1 食品等の飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止すること					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	食品衛生法第2条等		関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本へ食品を輸出する輸出国に対し現地査察等を行い輸入食品の安全性を確保するほか、食品の微生物に係る規格基準を整備することなどにより、我が国の食品の安全・安心を確保する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国における食品輸入時検査等での違反事例等に関する調査を実施し、調査結果に基づき輸出国政府に改善要請を行うことなどにより、輸入食品の監視体制の強化を行う。また、国内食品関係事業者の衛生管理水準を高めるための事業、FAO/WHO合同食品規格計画(コーデックス委員会)への参画のために必要な情報の整理や検討会の開催、及び、微生物に由来する食品汚染実態調査等を実施する。								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	300	266	251	228	273		
		補正予算							
		繰越し等							
	計		300	266	251	228			
	執行額		271	227	224				
執行率(%)		90	85	89					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)	
	輸入食品の違反事例件数 (当事業は違反食品を国内に流通させないための事業であり、輸入時の違反数に関して成果目標を設定することは困難)			成果実績	件	1,376	1,257	1,053	—
				達成度		—	—		
	食品中の微生物の実態調査において安全性が確認できたもの (食品中の微生物の実態調査の対象数を事前に把握することは困難であるため、成果目標を設定することは困難)			成果実績	件	1	1	3	—
				達成度		—	—		
	コーデックス委員会への参画数			成果実績	回	17	11	10	—
			達成度		—	—			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	毎年度輸入食品監視指導計画を策定し輸入食品の監視指導を実施しているところ、その内、モニタリング検査についての実施数。			活動実績 (当初見込み)	件	88,788 (85,018)	91,330 (86,100)	93,054 (89,900)	
	食品中の微生物の実態調査			活動実績 (当初見込み)	件	1 (—)	1 (—)	3 (—)	
	コーデックス連絡協議会の開催回数			活動実績 (当初見込み)	回	2 (2)	2 (2)	2 (2)	
単位当たりコスト	896千円/1か国			算出根拠	日本への輸出国に対する事前調査(現地調査)費執行額(9,853千円)/現地調査国数(11か国)				
	4,650千円/件			算出根拠	食品中の微生物の実態調査執行額(13,946千円)/活動実績(3件)				
	158千円/回			算出根拠	コーデックス対策会議の開催経費執行額(315千円)/会議開催数(2回)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	0.5	0.9	「新しい日本のための優先課題推進枠」0.2					
	職員旅費	25.0	29.5	「新しい日本のための優先課題推進枠」2.1					
	委員等旅費	1.6	2.4	「新しい日本のための優先課題推進枠」0.8					
	庁費	8.4	8.2						
	社会保障関係情報化業務庁費	88.9	128.9	「新しい日本のための優先課題推進枠」60.4					
	食品等試験検査費	104.0	103.2						
	計	228.4	273.1						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	我が国の食糧自給率(供給熱量ベースの総合食糧自給率)は約4割であり、供給熱量ベースで約6割を国外に依存していることから、輸入食品の安全性を確保することは極めて重要であり国費投入が必要である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国境措置は、政府間交渉を伴い、国が実施する必要がある。また、他国においても同様な状況である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	食品の安全確保のための事業であり優先度は高い。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	支出先の一部に随意契約がある。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—	—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	現地調査に先立ち入念な計画を立て調査を実施しており、妥当なコストである。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	食品の安全確保に必要な経費に支出している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	入札により、当初予定していた予算額以下で調達ができたため。		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	食品の衛生状況等を踏まえた監視体制強化が図られている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	モニタリング検査の実施率は100%を超えているなど、食品の衛生状況等の把握が適切に行われ、これを踏まえた監視体制強化が図られている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	モニタリング検査等の結果、食品の衛生状況等の把握が適切に行われ、これを踏まえた監視体制強化が図られている。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>輸入食品監視指導計画を策定し、監視指導を実施しており、食品衛生法違反が1,053件と、昨年度から違反件数が減少していることが認められた。引き続き、問題発生未然防止のために輸出国に対し計画的に現地調査を実施し輸出国の衛生管理体制の確認を行うなど、効果的な輸入食品の監視体制を図る。</p> <p>また、微生物に由来する食品汚染実態調査によって得られた結果は、規制対象物質に対し規格基準を設定するにあたり重要なデータとなるため、毎年一定数の実施数を確保できていること、引き続き、調査対象となる微生物の選定については、最新の科学的知見及び従前の本調査結果を踏まえつつ、精度の高い調査結果が得られるように努める。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	本事業は、輸入時検査等での違反事例等に関する事前調査を実施し、調査結果に基づく輸出国政府への改善要請等に必要な経費であり、我が国の食品の安全性確保に不可欠な事業であることから、引き続き効率的な予算措置に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0325	平成23年	0295	平成24年	0254

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
224百万円

【一般競争入札】

A 日本電子計算機
(株)等
6者 101百万円

〔食品の安全確保に必要なシステム
の構築、保守等〕

【随意契約】

B (株)ホンヤク社等
59者 59百万円

〔食品の安全確保に必要な試験研究
のための消耗品、備品購入等〕

【謝金・旅費】

C 個人
25者 1百万円

〔食品の安全確保に必要な専門
的助言等〕

【事務費】

D 民間業者等
112者 63百万円

〔職員旅費、消耗品等〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.日本電子計算機(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	食中毒調査支援システム システム構築業務一式	25.4			
計		25.4	計		0
B.(株)ホンヤク社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	メキシコ食品安全関連法規 翻訳 他12件	4.5			
計		4.5	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	100万円未満のため省略				
計		0.0	計		0
D.東京電力(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
光熱費	電気使用料	6.9			
計		6.9	計		0

支出先上位10者リスト

A.一般競争入札

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電子計算機(株)	食中毒調査支援システム システム構築業務一式	25	1	96.8
2	東芝ソリューション(株)	食中毒調査支援システム運用保守業務一式	25	1	96.6
		食品保健総合情報処理システム運用保守業務一式	17	1	86.6
3	IBJL東芝リース(株)	食品保健総合情報処理システム構築業務一式	21	3	87.9
4	宮崎化学薬品(株)	次世代シークエンサー 1式	9	2	97.2
5	(株)バイオテック・ラボ	デジタルPCRシステム(～QS3D-01LP) 1式	2.4	2	99.4
6	WDB(株)	試験研究業務等のための人材派遣業務	0.9	5	73.8
7					
8					
9					

B.随意契約

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ホンヤク社	メキシコ食品安全関連法規の翻訳 他12件	4.5	随意契約	
2	(株)太陽美術	平成23年食中毒統計の印刷 他1件	4.1	随意契約	
3	高信化学(株)	高速シーケンス解析 200MB 一式 他7件	2.2	随意契約	
4	(株)帝国理化	温度勾配ゲル泳動装置 タイテック社製 マイクロμ TG 1式 他2件	2.1	随意契約	
5	宮崎化学薬品(株)	Dynabeads MyOne Streptoavidin～ 1点 他2件	1.6	随意契約	
6	エム・アール・アイリサーチアソシエイツ(株)	生食される家きんの肉及び内蔵に関する調査	1	随意契約	
7	(株)バイオテック・ラボ	InertSustain C18 3μ m 2.1mm×150mm 3点 他1件	0.8	随意契約	
8	岩井化学薬品(株)	レインボーアガー O157バイチ 30G 1点 他4件	0.7	随意契約	
9	広島和光(株)	4304437 TaqMan ～ PCR Master Mix 1点 他1件	0.6	随意契約	
10	(株)クロスインデックス	通訳 他3件	0.6	随意契約	

C.謝金・旅費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	出席旅費	0.5		
2	個人B	出席旅費	0.03		
3	個人C	出席旅費	0.03		
4	個人D	出席旅費	0.03		
5	個人E	出席旅費	0.01		
6	個人F	出席謝金	0.01		
7	個人G	出席謝金	0.01		
8	個人H	出席謝金	0.01		
9	個人I	出席謝金	0.01		
10	個人J	出席謝金	0.01		

D.事務費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京電力(株)	電気使用料	6.9	随意契約	
2	(株)カラサワ	デスクトップPC NEC Mate Type ME 2点 他7件	1.7	随意契約	
3	(株)一和堂	パソコン 6台 他1件	1.5	随意契約	
4	株式会社ニード	PC1台 他6件	1.2	随意契約	
5	東京都水道局	水道使用料	1	随意契約	
6	東京ガス(株)	ガス使用料	0.9	随意契約	
7	(株)伊藤サプライ	NECPC/VersaProJUltraLite/VG 2点 他11件	0.9	随意契約	
8	(株)JTB首都圏	旅費	0.8	随意契約	
9	日本空調サービス(株)	エアコン更新工事	0.7	随意契約	
10	大和総合印刷(株)	印刷料	0.5	随意契約	